

各事例の詳細について

平成22年6月2日
農林水産省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	結果 (2日未明判定)
254	児湯郡川南町	酪農・肉用牛複合経営	56頭 (搾乳牛32頭 育成牛16頭 肥育牛7頭 山羊1頭)	52例目の農場から西約200m	・6月1日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に口内炎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養牛の舌等にびらんを確認 (25日、ワクチン接種)	臨床症状(+)
255	児湯郡都農町	養豚	775頭 (繁殖豚65頭 育成豚4頭 子豚700頭 種雄豚6頭)	203例目の農場から南西約550m	・6月1日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の死亡等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養豚の蹄にびらん等を確認 (25日、ワクチン接種)	臨床症状(+)
256	児湯郡高鍋町	養豚	2,014頭 (繁殖豚316頭 育成豚6頭 肥育豚714頭 子豚961頭 種雄豚17頭)	228例目の農場から北西約1km	・6月1日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚の鼻にびらん等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養豚の鼻や乳頭に水疱等を確認 (22日、ワクチン接種)	臨床症状(+)
257	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	当該農場119頭 (繁殖牛55頭 育成牛13頭 子牛51頭) 関連農場5頭 (子牛5頭)	243例目の農場から北約250m	・6月1日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養牛の舌にびらん・乳頭に水疱等を確認 (28日、ワクチン接種) ・当該農場の飼養管理者が、別の農場でも飼養管理を行っていたことから、別の農場の飼養牛全頭も疑似患畜とした。	臨床症状(+)
258	児湯郡川南町	養豚	4,815頭 (育成豚82頭 肥育豚4,733頭)	208例目の農場から西約400m	・6月1日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養豚の鼻や蹄にびらん等を確認 (23日、ワクチン接種)	臨床症状(+)
259	児湯郡川南町	養豚	790頭 (肥育豚790頭)	125例目の農場から北東約300m	・6月1日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養豚の鼻や蹄にびらん等を確認 (24日、ワクチン接種)	臨床症状(+)
260	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	26頭 (繁殖牛14頭 子牛12頭)	102例目の農場から東約100m	・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養牛の鼻や蹄にびらん等を確認 (25日、ワクチン接種)	臨床症状(+)

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	結果 (2日夜判定)
261	児湯郡川南町	養豚	597頭 (繁殖豚59頭 子豚534頭 種雄豚4頭)	3例目の 農場から 北約300m	・6月2日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚の乳頭に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養豚の蹄や乳頭にびらん等を確認 (24日、ワクチン接種)	臨床症状 (+)
262	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	82頭 (繁殖牛40頭 育成牛4頭 子牛38頭)	182例目の 農場から 北東約400m	・6月2日、役場職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養牛の舌にびらん等を確認 (26日、ワクチン接種)	臨床症状 (+)
263	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	41頭 (繁殖牛21頭 育成牛2頭 子牛18頭)	134例目の 農場から 東約150m	・6月2日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養牛に流涎等を確認 (26日、ワクチン接種)	臨床症状 (+)
264	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	6頭 (繁殖牛3頭 子牛3頭)	212例目の 農場から 南西約750m	・6月2日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養牛に流涎等を確認 (28日、ワクチン接種)	臨床症状 (+)